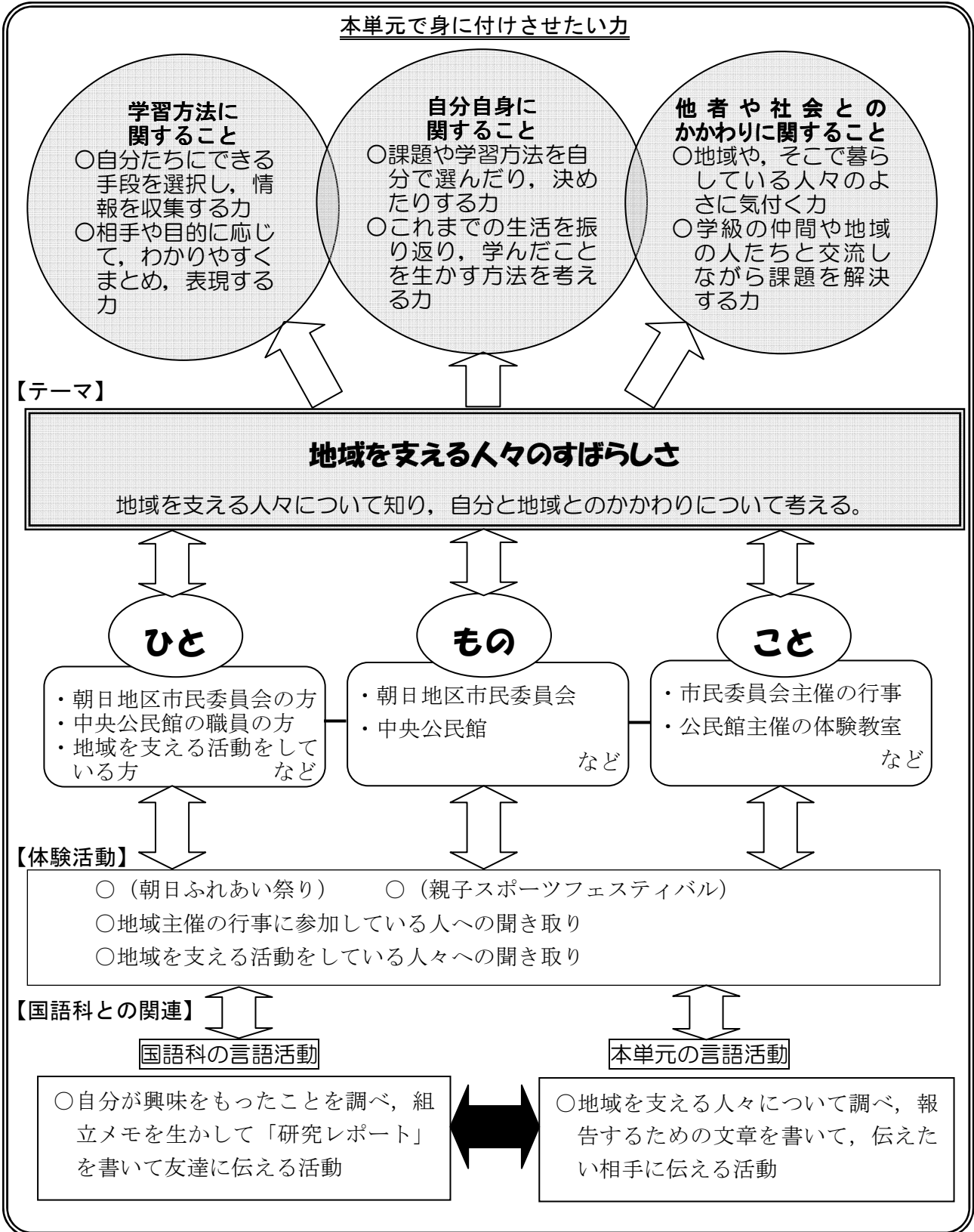


学年	単元名	児童	場所	指導者
3年	「朝日レンジャー」調べ隊	朝日小学校 3年1組 22名	3年1組教室	米津 郁子

1 単元で身に付けさせたい力と学習対象の関連図…… 【研究視点1 旭川を見つめ学びを創造する学習対象の吟味】



2 単元について

(1) 教材化にあたって

朝日地区は、地域で子どもを育てるという意識が高く、登下校中の朝日っ子に、「いってらっしゃい」「おかえりなさい」と笑顔で声をかけてくださる方が大変多い。

市民委員会の方々にも、子どもの健全育成のために様々な取り組みを行っていただいております。青少年育成部主催の親子スポーツ大会、文化部主催の親子書き初め大会など、行事も多い。

また、隣接する中央公民館でも、朝日っ子を対象にした体験教室を開いていただいている。

自分は自分、人は人、という考え方をする日本人が増えている中で、地域を愛し、地域を支える活動に熱心に取り組む人が多い朝日地区は、ぜひ子どもに触れさせたい、価値の高い学習対象である。

児童は、他の地域との比較をする経験もないことから、自分たちが地域を支える人々の活動のおかげで気持ち良くなっていることや、地域に愛されて育てていることに気付いていない。

そこで、本単元の学習を通して、自分たちの暮らしが地域の人々の活動に支えられていることに気付き、地域の一員として、自分にできることを考え、進んで行動に移す人になってほしいと考えている。

(2) 児童の実態

本学級の約半数の児童が、「地域の人はよくあいさつをしてくれる、子どもに優しい」と考えている。「朝日地区にはゴミが落ちていることが少ない」ということに気付いている児童も数名いる。

地域に温かく見守られて育ちながら、地域のよさが「わからない」と答える児童が約半数いる。

朝日ふれあい祭りや親子スポーツ大会などの行事があることは知っており、参加したことがある児童も少なくない。しかし、それらが地域の方々によって催されていることを知っている児童はほとんどいない。また、地域主催の行事を学校主催と思い違いをしている児童も多い。

(3) 指導について

1学期に、「給食はかせになろう」の単元を通して、課題を解決するための見通しを立て自分で情報を収集するおもしろさを感じ取った児童の学習経験を踏まえて指導していく。

本単元では、児童が自分の力で調べてわかったことやそこから気付いたことを生かして、新たな課題を見出し、学習を深めていけるようになることを大切にしたい。そのために、調査結果の交流会の中で、児童が無自覚のうちに収集した情報の自覚化を図るなど、教師が適切に働きかけるようにする。

第1次の学習において、朝日地区では、地域を支える活動が盛んに行われていることに、調査活動を通して気付かせる。

第2次の学習では、実際に地域を支える活動に取り組む人々にインタビューをしたり、一緒に活動したりすることを通して、地域を支える活動に取り組む人々は地域や地域の子どもの愛し、地域の一員としての自覚をもって、自分の時間を割いて無償で活動していることに気付かせる。

第3次は、第2次までに気付いたことをもとに自分自身について振り返り、地域の一員として自分にできることを考え、実践する場とする。具体的には、地域の方や保護者を対象に、地域を支える活動をしている人々の思いや願いを伝えること、朝日っ子を対象に、地域主催の行事への参加を呼びかけること、市民委員会の方や中央公民館の職員を対象に新しい行事のプランを提案すること、ゴミステーション周辺の清掃活動に取り組むことなどが考えられる。

3 単元の目標

○自分たちの住みよいくらしは、地域の人々の活動に支えられていることに気付き、地域の一員として自分にできることを考え、行動することができる。

4 評価規準

(1) 単元の評価規準

テーマへの興味・関心	学習方法に関すること	自分自身に関すること	他者や社会へのかかわりに関すること
<p>○地域を支える人々の活動に関心をもち、課題を設定したり、進んで調べたりする。</p> <p>○学んだことを生かして、地域の一員として自分にできることをする。</p>	<p>○自分たちにできる方法を選択し、情報を収集することができる。</p> <p>○相手や目的に応じて、わかりやすくまとめ、表現することができる。</p>	<p>○地域の一員として、自分にできることを考えている。</p>	<p>○地域や、そこで暮らしている人々のよさに気付く。</p> <p>○学級の仲間や地域の方と交流しながら課題を解決する。</p>

(2) 学習活動における具体的評価規準

次	テーマへの興味・関心	学習方法に関すること	自分自身に関すること	他者や社会へのかかわりに関すること
第1次 ⑫	○気付いたことをもとに、共通課題について考えている。	○調査方法の見通しをもち、自分で情報を収集している。		○地域を支える活動のよさに気付いている。
第2次 ⑳	○地域を支える活動について進んで調べている。 ○気付いたことをもとに、共通課題について考えている。	○調査方法の見通しをもち、自分で情報を収集している。		○学級の仲間や地域の方と交流しながら課題を解決している。
第3次 ⑪	○地域の一員として、自分にできることを考え、実践している。	○相手や目的に応じて、わかりやすくまとめ、表現している。	○地域の一員として、自分にできることを考えている。	○学習をふりかえり、朝日地区や朝日地区を支える人々のよさに気付いている。

5 単元の展開 (全49時間) ……………【研究視点2 探究的な活動を重視する単元構成の工夫】

次	過程	○主な学習活動	◇教師の働きかけ ☆評価
⑫ 第一次	【課題の設定】	(「朝日ふれあい祭り」に参加する。) (「親子スポーツフェスティバル」に参加する。) ○「朝日ふれあい祭り」「親子スポーツフェスティバル」の写真を見て、行事を運営している人について知っていることや疑問を話し合い、課題を設定する。 ① 「朝日地区のためにがんばっている朝日レンジャーがたくさんいるんだね」 「他にはどんな活動をしているのか調べてみたい」	◇写真を提示する ◇わかっていることと、調べなくてははっきりしないことを整理し、課題の設定を促す
	【情報の収集】	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> 朝日レンジャーの活動について調べよう! </div>	
	【整理・分析】	○仮の共通課題について、予想を話し合う。 ① 「たぶん、ラジオ体操も関係があると思う」 「朝、ゴミを拾っている人も朝日レンジャーといえるんじゃないかなあ」 ○調査計画を立てる。 ① 「毎朝交差点に立っているおじさんにインタビューをすればわかりそう」 ○調査活動をする。 ⑥ 「3月の6年生卒業おめでとうのもちつき大会も市民委員会でやってくれていたんだ」 ○調査結果をまとめる。 ① 「環境部ではなくても、ゴミを拾っている人がいる」 「公民館では、朝日っ子のための体験教室が開かれている」 ○調査結果を交流し、活動の様子について自己評価をする。 ①	☆地域を支える活動について調べることを自分で決めている。(ノート) ☆調査方法の見通しをもち、自分で情報を収集している。(発言、ノート、活動の様子) ☆地域を支える活動をする方への聞き取りから、活動のよさに気付いている。(発言、ノート、発表)
【まとめ・表現】	<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> ぼくたちが気にしないで見ていたおじさんたちが、地域のためにがんばっていているということに気付いた </div>		
【課題の設定】	○新しい共通課題の設定 ①【本時】 「朝日レンジャーのみなさんには自分の仕事もあるはずなのに、どうしてこんなに頑張れるんだろう」 「こんなにたくさんの方が地域のために頑張っているのはなぜかな」	◇新しい共通課題を設定するために、気付いたことや新たな疑問を交流させる ☆気付いたことをもとに、共通課題について考えている。(発言、ノート)	
		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> 朝日レンジャー調べ隊になって、朝日レンジャーが頑張ることのできる理由を調べよう。 </div>	

【課題の設定】

【情報の収集】

【整理・分析】

【まとめ・表現】

【課題の設定】

○個の課題を設定する。 ②
「青少年育成部の人が、どうしてこんながんばれるのかを調べたい」
「環境部の人が、どんな気持ちで仕事をしているのかを調べたい」

○グループごとに、活動計画を立てる。 ②
「一緒にゴミ拾いをしながらお話を聞いてみよう」
「青少年育成部の人にインタビューをしに行こう」
○グループで調査活動を行い、多様な情報に触れる。

○グループで調査活動をする。 ⑩
○調べたことを伝える準備をする。 ④

○朝日レンジャーをお招きして調査結果報告会をし、朝日レンジャーの苦労や悩みを聞く。 ③
「お年寄りの朝日レンジャーは、やっぱり体が辛いと思うときがあるんだな」
「もっとたくさんの人に地域行事に参加してほしいと願っているんだな。」

○地域の方と共に地域清掃活動をする。 ③
「いつも気持ち良く通学できるのは、朝日レンジャーのおかげだったんだな。」
「朝日レンジャーは、自分の孫に接するようにぼくたちに優しくしてくれる。」
○自分の考えを確かにするために清掃活動をする。

○朝日レンジャーががんばることのできる理由について、自分の考えをまとめ、自己評価をする。 ①
「朝日レンジャーは、自分だけではなく、朝日地区のみんなのことを考えているからがんばれるんだ」

○考えを交流し、発展した共通課題を設定する。 ①
「若い人も朝日レンジャーを手伝ったほうがいい」
「自分のおうちの人にも、市民委員会のお手伝いをしてもらいたい」
「ぼくは、朝日レンジャーと一緒に、新しい地域行事の内容を考えたい」
「わたしは毎日花壇の水やりをしたい」

☆課題の解決に向けて、ふさわしい方法を自分で選んでいる。
(ノート、活動の様子)

☆地域を支える活動について進んで調べている。
(活動の様子、ノート)

☆調査方法の見通しをもち、自分で情報を収集している。
(発言、ノート、活動の様子)
◇活動を続けていく苦労や悩みを語っていただく

◇課題に対する考えをもたせる共通体験を設定する。
☆学級の仲間や地域の方と交流しながら課題を解決している。
(活動の様子、ノート)

◇第2次のまとめの交流により、課題の更新を促す。
☆気付いたことをもとに、共通課題について考えている。
(発言、ノート)

ちびっこ朝日レンジャーになって、朝日地区のために自分にできることをしよう

- 個の課題を設定する。 ①
- グループごとに、活動計画を立てる。 ①
- 地域の一員として自分にできることを実践する。 ⑥
- 朝日レンジャーをお招きして、実践報告会をする。②
「わたしたちは、夕方、ゴミステーションの掃除をしています。カラスもこないし、ゴミステーションのそばを通るとき、いやな気分になりません。」
- 地域の一員としてこれからの自分にできることを考え、単元全体をふりかえって自己評価をする。 ①
「家族を誘って地域の行事にどんどん参加しよう。」
「道や花壇にゴミが落ちていたら、進んで拾い、みんなが気持ち良くくらせる朝日地区にしたい。」

☆地域の一員として、自分にできることを考え、実践している。（活動の様子）

☆相手や目的に応じて、考えをわかりやすくまとめ、表現している。（報告会の内容、様子）

☆学習をふりかえり、朝日地区や、朝日地区を支える人々のよさに気付いている。（ノート、発言）

☆地域の一員として、自分にできることを考えている。（自己評価の内容）

6 研究との関わり

(1) 地域を支えるひと・もの・こと……………【研究視点1】

地域の活動を支える市民委員会の人々の思い

本単元は、学習指導要領に例示されている「地域の人々の暮らし、伝統と文化など地域や学校の特色に応じた課題についての学習活動」を具体化したものである。

旭川をしっかりと見つめ、地域に根ざした「旭川らしさのある総合的な学習の時間」となるよう、本単元では特に、『校区の「ひと・もの・こと」とのつながりが強いこと』という視点から学習対象を吟味した。

朝日小の校区における盛んな市民委員会の活動について、子どもたちは毎日特に意識をすることもなく、当たり前のことのように思いながら見ている。本単元では、こうした市民委員会の活動を「知りたい」という意識をもって改めて見たり、自分たちも地域の方々と一緒に活動したりする学習を通して、朝日地区の人々が地域を愛し、地域のために自分にできることを続けようとしていることに気付かせることが可能である。

また、たくさんの人々が熱心に地域を支える活動に取り組んでいる朝日地区においても、若い世代がそうした活動から離れているという問題が生じている。このことが、自分の周囲に目を向けて進めてきた学習を自分自身の生き方を見つめることへと向かわせるきっかけとなると考えられる。それまでの課題が更新され、子どもたちが地域の一員として自分自身にできることを行動に移したり、自分自身のこれからの生き方を考えたりする学習に発展していくことが期待できるのである。

第1単元で、学校の中の「ひと・もの・こと」にかかわって学んだ経験を生かし、第2単元で学習対象を校区に求めることは、学び方を段階的に育てていくという視点からみても妥当であると考えられる。

(2) 協同的な学びから課題意識を高める単元構成の工夫……………【研究視点2】

協同的な学
びを位置付
けた単元構
成

〈多様な情報の収集、活用のために〉

第2次では、調べたいことが似ている者同士のグループで、調査活動を行う。グループごとに調べたことを報告し合う場面を設け、朝日レンジャーの活動ぶりや、地域を思う気持ち、活動を続けていく上での苦労など、多様な情報に触れることができるようにする。

〈異なる視点から考え検討するために〉

第2次の調査報告会に、市民委員会の方をお招きし、子どもたちの調査内容を聞いて感じたことを語っていただく。その際、地域を思う気持ちや、活動を続けていく上での苦労について、子どもたちからの質問に答えていただく場面も設け、子どもたちが調査活動だけでは気付かなかった問題に気づき、新たな共通課題の設定に向かうことができるようにする。

自分の考え
を確かにす
る共通体験

本単元における共通体験は、第2次の調査結果報告会の後に行う地域清掃活動である。調べてわかったこと、友達から聞いてわかったことをもとに、朝日レンジャーが地域のためにがんばることのできる理由について、朝日レンジャーと共に活動する体験を通して考えることができるようにすることをねらいとする。

市民委員会
の方を招き
学びの成果
を実感

第3次の実践報告会に、市民委員会の方や保護者をお招きし、子どもたちが「朝日地区をもっとよくするために、自分たちの実践を伝えたい」という意欲をもって学びの成果を発信できるようにする。

(3) 共通課題設定に向けた指導方法の工夫……………【研究視点3】

予想を交流
する場面を
設け共通課
題に迫る

本時には、地域を支える人々の活動について子どもたちが調査したことを報告し合う場面を設定する。「自分たちは気付いていなかったが、朝日地区には地域を支える人々の活動がたくさんある」ということに気付かせるとともに、「自分たちで調べると、知らなかったことがわかるのでおもしろい」という調査活動への意欲をもたせるためである。

また、市民委員会主催の行事に、毎回参加している方をお招きし、行事のよさや、家族全員で参加する理由などを語っていただく。「市民委員会の行事は、朝日地区の人々に喜ばれている」ということに気付かせるためである。

「朝日レンジャーは、なぜ地域のために頑張ることができるのか」について、予想を交流する場面を設ける。自分の仕事を持ちながら、自分の時間を割き、無償で地域のために活動していることを、自分や自分の家族の生活ぶりとは比べながら考えさせ、「地域を支える活動をしている人々の思いを確かめたい」という、テーマへの意欲をもたせるためである。

このようにして「朝日レンジャーががんばることのできる理由を調べる」というテーマについて学ぶことへの意欲を十分に高めさせたい。

7 本時の授業

(1) 本時の目標

- 調べてわかったことを知らせ合い、地域を支える人々の努力や苦勞に気付き、共通課題を設定することができる。 【探求的な学習への関心・意欲・態度】

(2) 本時の展開(12 / 49)

主な学習活動	□教師の働きかけ◆評価 ☆研究とのかかわり
○本時の学習内容を確認する。	
朝日レンジャーの活動について調べよう!	
○地域に役立つ活動をしている人々について調べたことを報告し合う。	□調べた内容や調べる方法、知らせ方のよいところを賞賛する。 ☆調査活動を生かした学び合いの工夫
○地域の行事に家族全員で参加している方のお話を聞く。 「朝日レンジャーの活動は朝日地区の人にとっても喜ばれているんだな」	…【研究視点2】
○朝日地区市民委員会の活動について、気付いたことを交流する。 「自分の仕事がお休みの日に地域のためにお仕事をしているなんて、朝日レンジャーはえらいと思います。」	◆気付いたことをもとに、共通課題について考えることができる。 (発言、ノートへの書き込み)
○朝日地区の地域を支える活動をする人々が、熱心に活動している理由を予想する。 「朝日地区のことが好きだからがんばれるんじゃないかな」 「喜んでくれる人がいるからがんばれるんじゃないかな」	□もっと調べたいこと、疑問に思うことを板書する。 ☆学びの道筋が分かる板書の工夫
…【研究視点3】	
朝日レンジャー調べ隊になって、朝日レンジャーが育つことのできる理由を調べよう。	

(3) 本時の評価規準

◇評価規準の具体 (評価方法～発言・学習ノート)	
(A) 十分満足できる	調べてわかったことをもとに、地域を支える人々の努力や苦勞に気付き、共通課題について自分の考えを仲間に伝えることができる。
(B) おおむね満足できる	仲間の意見を聞いて、地域を支える人々の努力や苦勞に気付き、共通課題について考えることができる。
* 努力を要する児童への指導	調べたことを想起させ、仲間の発言について自分はどのように思ったかを問いかけ、課題意識をもたせるようにする。